

第16期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）決算の概要

株式会社地域経済活性化支援機構

株式会社地域経済活性化支援機構は、令和7年6月26日、定時株主総会を行い、第16期事業年度の決算を報告しました。概要は以下のとおりです。

- 1 第16期事業年度における主な業務の実績は以下に記載の通りです。
(注)社名は決定時点のものとなります。

【ファンド運営・出資】

- ・投資実行8件
〈内訳〉(株)OPExPARK、(株)BrewGood、(株)庄交コーポレーション、(株)PROVIGATE、田勇機業(株)、エルピクセル(株)、(株)梅小路ハイライン、他非公表案件1件
- ・特定組合出資決定5件
〈内訳〉地域創生新潟2号投資事業有限責任組合、シンプレクス・キャピタル・PIPEs投資事業有限責任組合1号、スタートアップ・デットファンドエクステンション投資事業有限責任組合、Yoi RBFファンド1号投資事業有限責任組合、能登半島地震復興支援ファンド投資事業有限責任組合

【事業再生】

- ・支援決定2件の内訳
〈内訳〉ユニチカ(株)等、(株)皆生グランドホテル
- ・買取決定等1件の内訳
〈内訳〉ユニチカ(株)等

【特定専門家派遣】

- ・5件の内訳
〈内訳〉(株)庄交コーポレーション他非公表案件4件

【特定支援（再チャレンジ支援）】

- ・特定支援決定15件 〈内訳〉非公表
- ・特定支援完了15件 〈内訳〉非公表

【事業再生支援高度化事業（※）】

- ・事業再生支援高度化研修（基礎編、実践編、フォローアップ編）を実施したところ、88の金融機関から150名が参加。
※令和5年度より地域金融機関における事業再生支援人材・担い手とその能力の高度化を目的として、金融庁の補助事業である「事業再生支援高度化事業」を実施しています。

【地域企業経営人材マッチング促進事業（※）】

- ・REVICareer（レビキャリア）への登録者累計4,343名、求人票累計3,449件、マッチング成約178件
※当社は、大企業から地域の中堅・中小企業への人の流れを創出し、地域の中堅・中小

企業による経営人材の確保を支援することを目的として、金融庁・経済産業省連携の補助事業である「地域企業経営人材マッチング促進事業」に取り組んでいます。「レビキヤリ」は当該事業において、当社が管理・運営する人材プラットフォームです。

- 2 貸借対照表の主なものとしては、資産の部の現預金として183億円、有価証券（譲渡性預金等）として105億円、営業投資有価証券として42億円となりました。負債の部は退職給付引当金として9億円、純資産の部は資本金として162億円、利益剰余金として374億円となりました。
- 3 損益計算書の主なものとしては、営業収益（投資事業有限責任組合収益、地域人材支援収入、特定専門家派遣収益等）として16億円、営業費用（人件費、地代家賃、地域人材支援費用等）として44億円、経常利益は▲27億円、当期純利益は▲27億円となりました。

以上